

経営比較分析表（令和3年度決算）

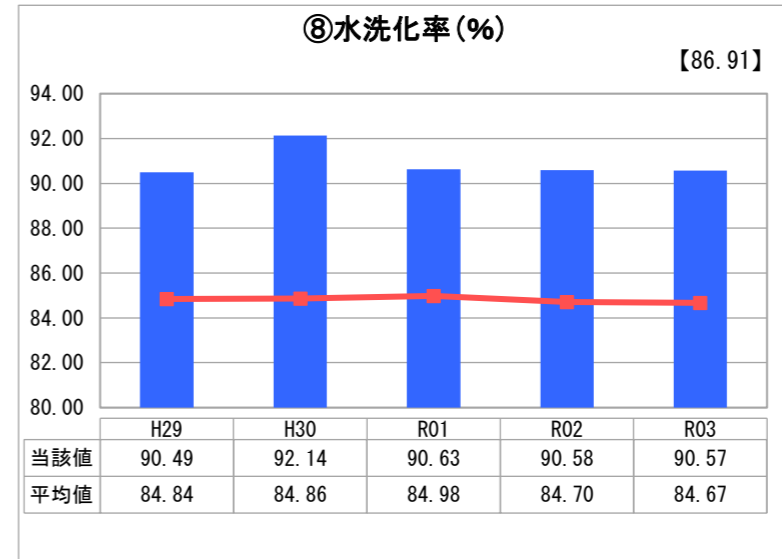
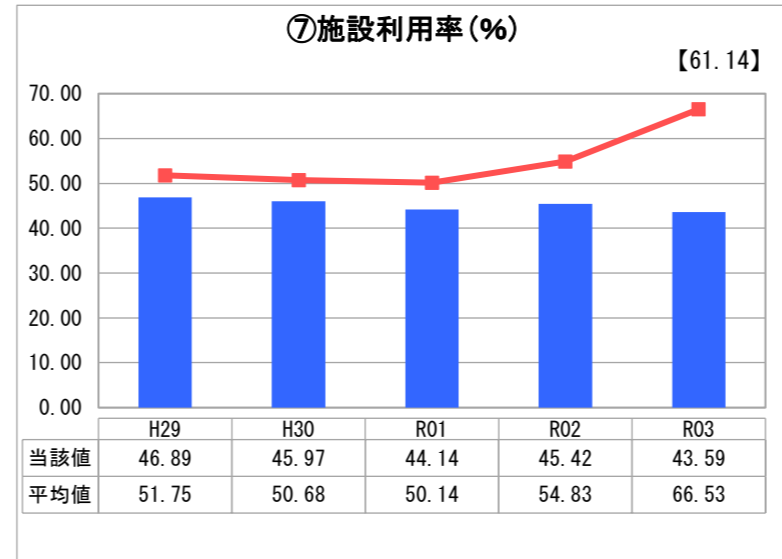
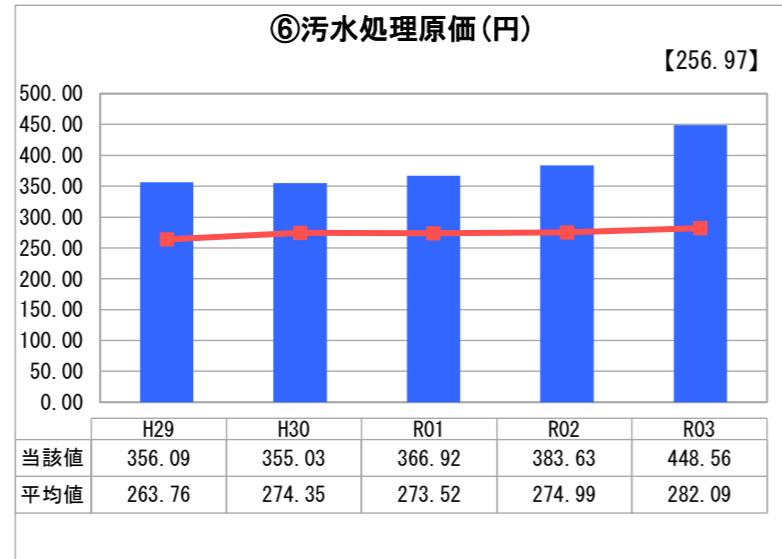
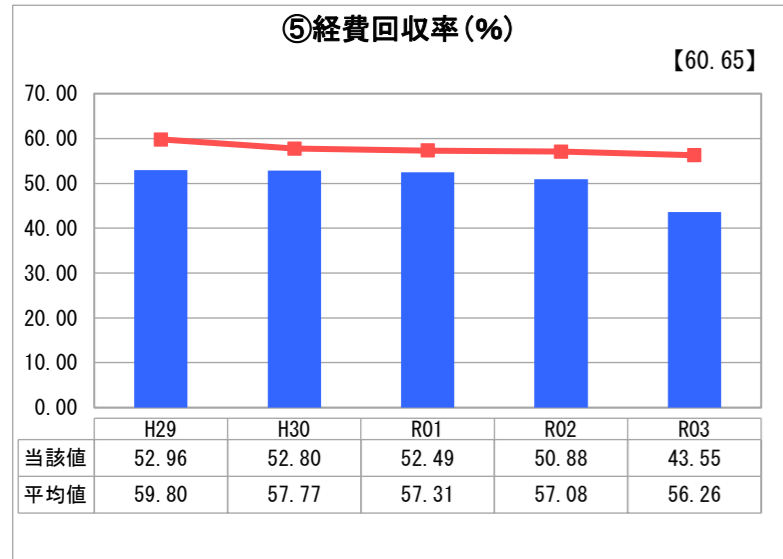
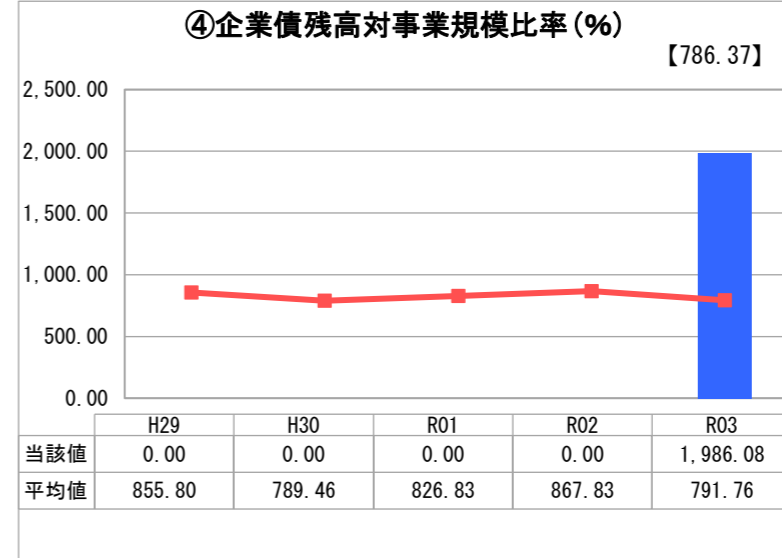
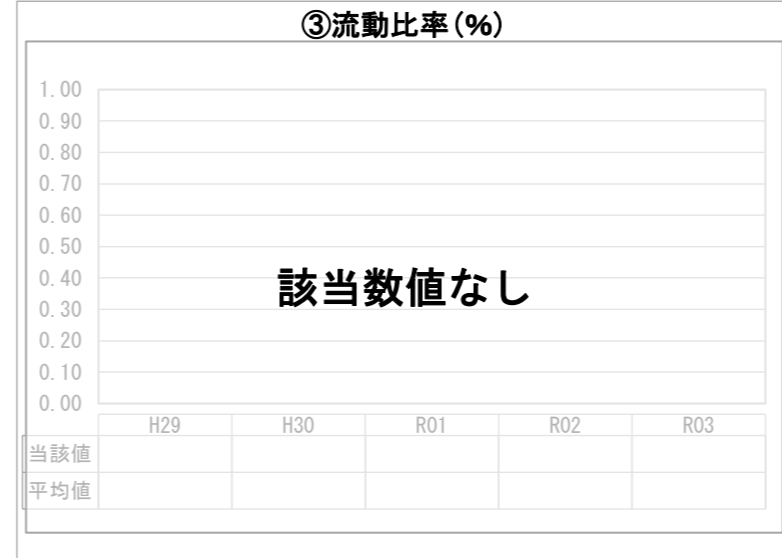
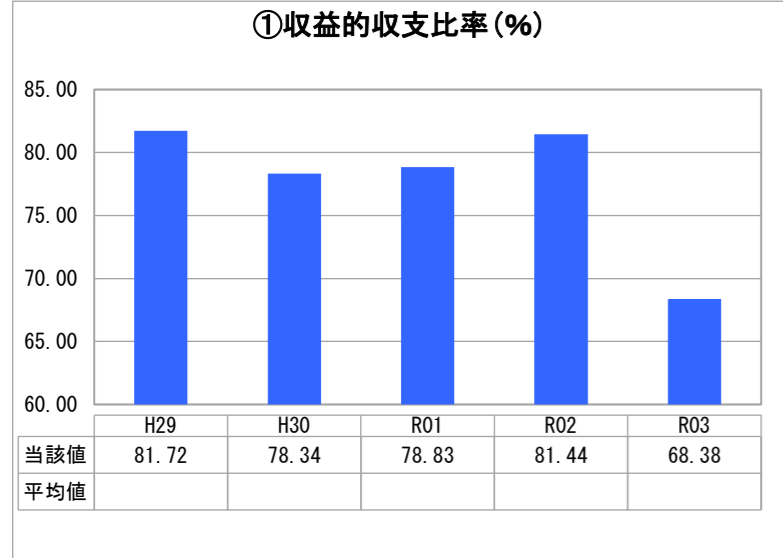
鳥取県 三朝町

業務名	業種名	事業名	類似団体区分	管理者の情報
法非適用	下水道事業	農業集落排水	F2	非設置
資金不足比率(%)	自己資本構成比率(%)	普及率(%)	有収率(%)	1か月20m ³ 当たり家庭料金(円)
-	該当数値なし	18.09	100.00	3,520

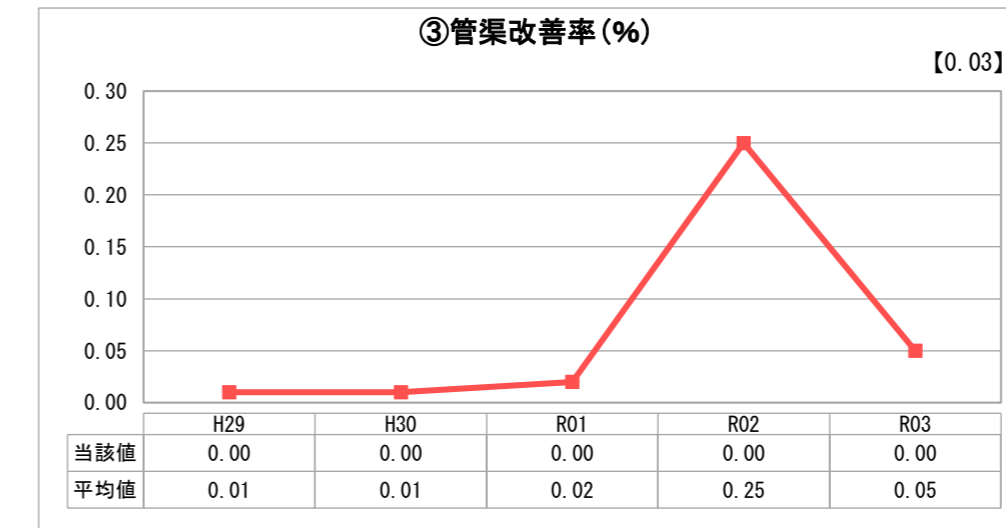
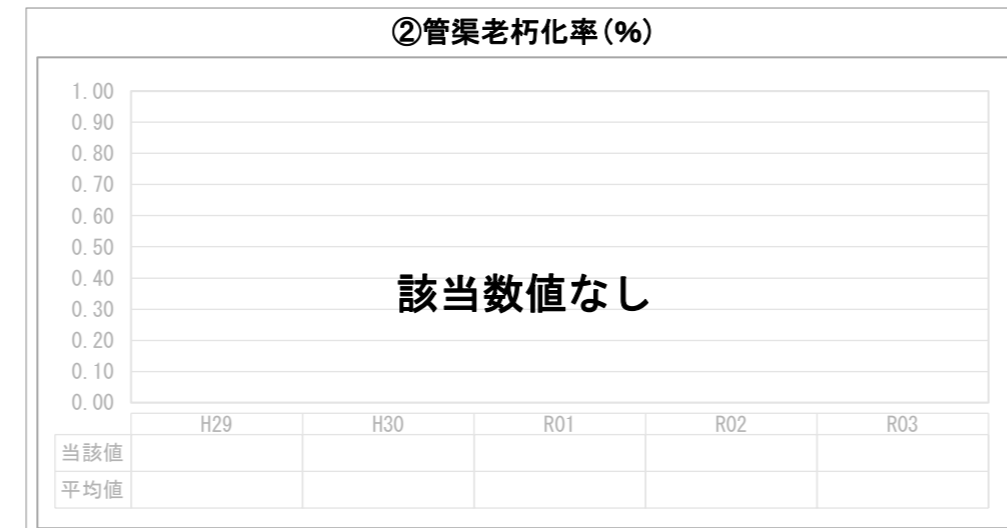
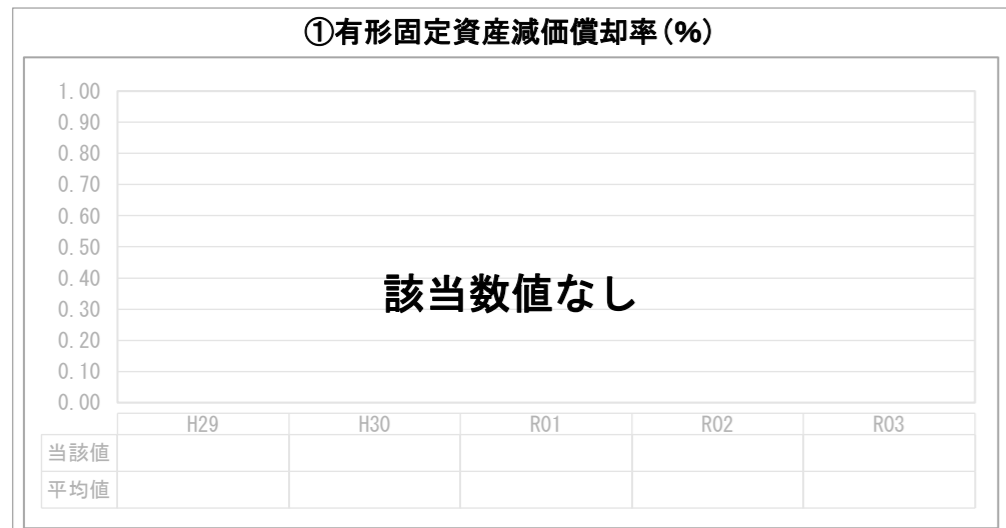
人口(人)	面積(km ²)	人口密度(人/km ²)
6,189	233.52	26.50
処理区域内人口(人)	処理区域面積(km ²)	処理区域内人口密度(人/km ²)
1,113	0.90	1,236.67

グラフ凡例	
■	当該団体値(当該値)
—	類似団体平均値(平均値)
[]	令和3年度全国平均

1. 経営の健全性・効率性



2. 老朽化の状況



分析欄

1. 経営の健全性・効率性について

処理区域内の人口減少が大きく影響し、処理量とともに料金収入も減少の一途をたどっている。また施設の老朽化から維持管理費は増加傾向にあり、集落排水処理事業（農集、林集、小規模）では公債費相当額に加え収支不足額を一般会計繰入金で賄っている状況にある。このため⑤経費回収率や⑦施設利用率は類似団体を下回り、⑥汚水処理原価では上昇が続く状況となっている。また、①収益的収支比率では、令和6年度に公営企業会計に移行するための業務が増加したことに伴い前年比で10%以上の減少となっている。

現状では早急な経営改善や規模縮小は困難であるが、引き続き経費の見直しなど費用面の削減や徴収強化を進めるとともに、料金体系の見直しも必要となっている。

2. 老朽化の状況について

老朽化状況を勘案し維持修繕を行っている。今後も大規模な施設更新は行わず、異常があれば更新する事後保全型の管理を行っていく。

全体総括

経営環境が厳しさを増す中で、長期的かつ安定した経営に向けた検討が必要となっている。

- ①人口が大きく減少する中で、安定した料金収入を確保するため、徴収率の向上に加えて料金体系の見直しを図る必要がある。
- ②汚水処理事業の継続に向け、一般会計繰入金の拡充等について検討を行う。

※ 法適用企業と類似団体区分が同じため、収益的収支比率の類似団体平均等を表示していません。